

研修医教育のツール 「寺子屋」

国立病院機構 大阪医療センター
脳神経外科
中島 伸

寺子屋とは

僧侶、武士、医師らが庶民を対象にした江戸時代の教育施設



当院の「寺子屋」

大阪医療センターの寺子屋

- 和尚さん：総合診療部ほか院内有志
- 寺子：初期研修医、医学生
- 材料：それぞれが経験した救急症例
 - ✓ 歩いて来院したのに救急外来で急変した
 - ✓ 診察後自宅に帰したら、翌日入院となった
 - ✓ たまたま見かけた「いけてない」診療

寺子屋でのプレゼン

- 年齢、性別、主訴、重症感
 - ✓ 鑑別診断、3C (critical, common, curable)
- 病歴
 - ✓ 鑑別診断
- 身体所見
 - ✓ エコー含む、鑑別診断
- 検査
 - ✓ 1st line、鑑別診断、初期治療、根本治療
- ディスカッション

寺子屋の特徴

- インタラクティブなやり取り
 - ✓ 教科書から一步踏み込んだ議論
 - ✓ 各メンバーの立ち位置は流動的
 - ✓ モチベーションを上げる工夫
 - ✓ 違和感を大切にする
 - ✓ 実戦力を鍛える

寺子屋を続けるコツ

- 寺子は気まぐれ、誰も来ないこともある
 - ✓ 書類仕事を片付ける
 - ✓ 自分の外来の振り返り
 - ✓ トイレに行けない
- 院内に情報発信を続ける
 - ✓ 議論を形あるものに残す
 - ✓ 宿題として持って帰る
 - ✓ 病院全体の診療レベルアップに貢献する